
中国語初級教科書の語彙分析と応用

加藤 宏紀 / 松村 文芳

本研究は、中国語初級の使用書について、語彙面から詳細な調査および分析を行い、主に中国語の専門教育における体系性をより高めるための基礎データを構築し、活用することを目的としている。

現在、中国語演習Ⅰで使用している教科書のうち、『ポイントマスター・初級中国語』（同学社）、『現代中国語入門』（白帝社）、《汉语速成听力 入门篇》（北京语言大学出版社）、《汉语会话301句上册》（同）の4冊について、新出語、補充語、例文や練習問題などから各使用語彙を抜き出し、

整理を進めている。

今後は、2015年に改訂された《新汉语水平考试大纲》や日本中国語教育学会編纂のガイドラインを基準とした各教科書の語彙分布を調査し、分析を行う。また、2年次における学習への接続を考慮し、中国語演習Ⅱの使用書へと調査対象を広げ、さらなる調査、分析を進める。このようにして得られたデータに基づいて、1年次終了時点で習得が求められる語彙を確定することにより、漢語水平考試（HSK）や中国語検定など各種中国語能力判定試験の資格取得への足がかりを提供する。